

《第79回》令和元年十月の作品

〈十月十一日（金）於・文京シビックセンター5D〉

骨酒のあとの岩魚のやはらかし  
（平六）

秋の陽や石垣厚き御城門  
（正佳）

天高しラグビーにみな盛上る  
（孝昭）

百歳の祝ひ届きし敬老日  
（清助）

海が堀秋の指月の萩城址  
（奉男）

托鉢僧色なき風をまとひ立つ  
（一江）

佐渡おけさ踊る背中に秋の風  
（貴美）

柿たわわはるか浅間に煙立ち  
（隆治）

秋燕の影滑りゆく山の肌  
（前歩）

庭園の苔うつくしや秋澄めり  
（芙沙）

同窓の友と会ふたび秋思あり  
（正雄）